令和5年（2023年）
6/1
No.1575

広報（こうほう）あびこ

市議会議員一般選挙　投・開票日が決定……2面
市議会定例会　6月5日㈪開会……2面
パブリックコメント……2面
移動スーパー運行ルート　6月12日㈪から変更‥3面
「らっく楽！あびこ」をリニューアル……4面
あびこん創業祭……5面
5月能登地方地震災害義援金にご協力を……7面
手賀沼花火大会の募金にご協力を……8面

発行／我孫子市　編集／企画総務部秘書広報課 広報室　〒270-1192 我孫子市我孫子1858番地　☎04-7185-1111（代表）　FAX04-7185-1520

6月は我孫子市男女共同参画月間です

夫婦共働きが家族の標準スタイルの時代です。男性も仕事だけでなく、家事・育児にさらに主体的に関われる社会づくりが求められています。

仕事と家庭を両立できるようにするため、国や企業がさまざまな取り組みを行う中、私たち一人一人ができることはないでしょうか。この機会に一緒に考えてみませんか？

問　秘書広報課男女共同参画室☎04-7185-1752

1 誰にでもある「無意識の思い込み」

自分の経験や育った環境から、根拠はないけれど「こうすることが当たり前」「普通はこうだ」と思うことがあります。これを**アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）**といいます。

それ自体は悪いことではありませんが、無意識のため人との会話で出てしまい、相手を傷つけたり、褒めたつもりが不快感を与えてしまったりすることがあります。それは、経験や環境が同じではないように「当たり前」や「普通」も人それぞれ異なるからです。

2 例えば、男性が家事をすると…

アンコンシャス・バイアスについて語るテーマの一つに「男性の家事」があります。実際に夫婦共働きの世帯に話を聞きました。

皆さんにも思い当たることはありますか？

子どもの頃、弁当を広げたら先生に「お母さんは料理が上手だね」と言われ、「喜ばないといけない」と思った。「お父さんが作った」とは言えなかった。

夫も家事をするが、それを周りの人に話すと「感謝しないと」と言われる。感謝はするけれど、お互いフルタイムで働いて、生活費も折半なのに？

我が家では食事は全て私（男性）の担当。周りの人から「男性なのにすごい」と言われる。当たり前だと思ってやっていることを褒められ、違和感がある。

夫は料理も子育てもよくやってくれる。周りの人から「夫の教育ができているね」と言われることがある。教育しているわけではないけれど…。

男性も家事をする時代だと分かっているのに、「早く帰って夕食を作る」と聞き、つい「男性なのにすごいね」と返してしまった。すると「材料はあって、焼くだけだよ」と言われた。
家庭料理の良さは、手間暇かけて作ることだけでなく、みんなで一緒に食べることだと、さらに自分の思い込みに気付かされた。

3 アンコンシャス・バイアスに気付こう

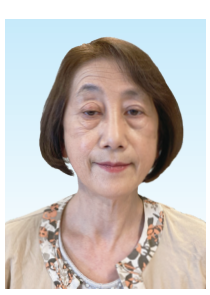
「男性が家事をする」と聞いた時に「普通は女性の担当」というアンコンシャス・バイアスがあると、「男性なのによくやっている」「妻が教育している」と言ってしまうことがあります。しかし、言われた側にとっては、あまり快い言葉ではないようです。

その他、「デートや食事のお金は男性が多く負担するべき」というアンコンシャス・バイアスもあります。性別に基づく役割を決めるのではなく、お互いが納得できる支払い方法を見つけましょう。

アンコンシャス・バイアスは誰にでもあります。しかし、それは世間一般の常識ではなく、自分だけの思い込みかもしれません。アンコンシャス・バイアスに気付き、多様な生き方を認め合う社会をつくりましょう。

あびこ女性会議共催　男女共同参画社会づくり講演会

アンコンシャス・バイアスの棚卸し～「私らしく」のその先へ～



▲高橋由紀さん

「私らしさ」という言葉が、長年、男女共同参画の啓発で使われてきました。しかし「私らしさ」が何か分からず、不安になっている人がしばしば見受けられます。ジェンダーにとらわれず自由になるための言葉が、「私らしくなければならない」と自分を縛っていませんか？

講演会では、男女共同参画に関わってきた講師がアンコンシャス・バイアスの視点から「私らしくあること」の意味を解き明かします。

日　6月24日㈯14時～16時
所　市民プラザ
師　高橋由紀さん（国立女性教育会館事業課客員研究員）
定　先着70人　費　無料
申・問　ちば電子申請サービスまたは電話・ファクスで氏名、電話番号・Eメールアドレスを明示。秘書広報課男女共同参画室☎04-7185-1752FAX04-7185-1520

▲ちば電子申請サービス

【我孫子市男女共同参画都市宣言】 21世紀の扉が開いた今、私たちは輝く未来を創りたい。自分を生かし、他人を認め、女も男も共にいきいきした暮らしができるまち我孫子にするために、ここに「男女共同参画都市」を宣言します。1. 私たちは、男女がお互いの人権を尊重する我孫子にします。2. 私たちは、社会のあらゆる分野で、男女が平等に参画する我孫子にします。3. 私たちは、男女が一人ひとり自立し、責任を分かち合う我孫子にします。（平成13年6月26日）